

平成26年度「私立大学フォーラム」第4回東京会場 開催報告

インテリジェンスセンター 広報・情報部門会議（フォーラム）

1. **グランドテーマ** 「教育立国の再構築を目指す私立大学の挑戦」
2. **開催テーマ** リーダーシップの必要性
3. **開催趣旨** グローバル化の進展に伴い、ビジネスの現場からはリーダーシップを発揮できる人材が求められています。しかし、日本の教育ではこれまでリーダーの育成は明示的に取り組まれておらず、大学においても実効的なリーダーシップ教育を行っている例は決して多くはありません。リーダーとしての可能性は誰もが持っており、これからの日本を担う若者たち一人ひとりにリーダーとなり得る資質の涵養が求められています。リーダーの役割とリーダーシップ教育のあり方について議論を深めます。

4. **開催日時** 平成26年11月15日（土）
13時00分～17時00分（シンポジウム）
17時10分～18時10分（情報交換会）

5. **場 所** 品川プリンスホテル メインタワー17階「オパール17」

6. **参加人数** 95名

7. 概 要

【1】基調講演

テーマ：「リーダーシップ教育の必要性」

田 中 優 子 氏

〔法政大学総長・日本私立大学連盟常務理事〕

【2】意見発表

テーマ：「未来への約束—Change or Die !」

中 根 滋 氏

〔東京理科大学理事長・UWiN(株)CEO・TPGキャピタル(株)シニアアドバイザー〕

テーマ：「大学でのリーダーシップ教育」

日向野 幹 也 氏

〔立教大学経営学部教授・リーダーシップ研究所所長〕

【3】パネルディスカッション

コーディネーター：淡輪 敬三 氏〔タワーズワトソン(株)シニア・アドバイザー〕

中根 滋 氏、日向野 幹也 氏

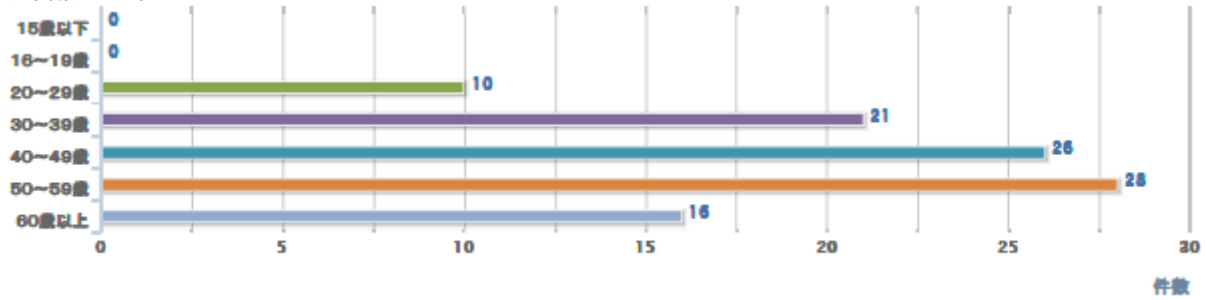
<※主な討議内容>

- ① リーダーシップとは、組織のトップや管理職だけに限定される能力ではなく、すべての人に求められるものであり、リーダーとしての自覚と主体性を芽生えさせることから始まる。
- ② 企業が求める「期待像」と「現状」の学生とのギャップを埋めるために、日本の大学教育において、今後リーダーシップ教育を体系的に構築し、主体的に物事を考え、多様なバックグラウンドをもつ人材を育成することが期待されている。
- ③ リーダーシップを発揮し、変革を実行する人材が求められる昨今、組織全員を方向づけ、目標を達成ための効果的な方法を考える構想力や真剣に相手の話を聞くアクティブ・リスニングやコミュニケーション能力が今後さらに重要になってくる。

8. 申込時アンケート

- ・調査対象…フォーラム参加申込者（総数 101 名）
- ・調査方法…参加申込の際に Web にて実施

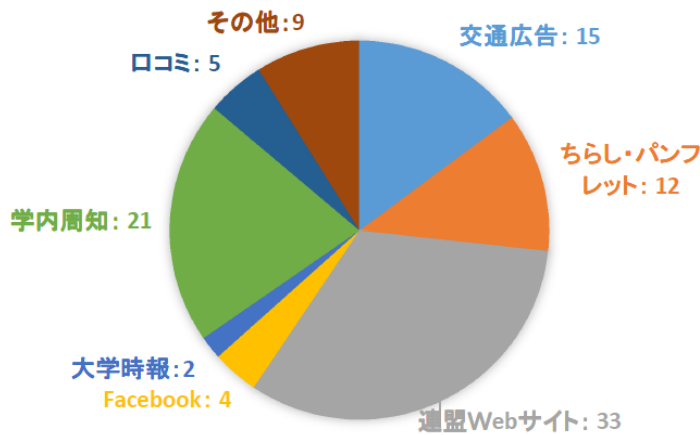
(1) 年齢別比率



(2) 職業別比率



(3) 参加を決めたきっかけの比率



【参考】JR 山手線 中吊り広告掲載
掲出期間 11月3日(月)～11月9日(日)



育つ？ 育てる？ リーダーシップ
2024年11月15日(土) 13:00 品川プリンスホテル
詳しくは「私大フォーラム」で、検索してください。



9. 参加者の主な声

- ・日本の歴史的背景から、様々なタイプのリーダー像を学ぶことができた。江戸時代から、情報の縮約や整合という主導的な役割を担うリーダーが存在しており、グローバル化という大きな変革期を迎えた今、次代に即したリーダーの資質のあり方について考えるきっかけになった。
- ・「リーダーシップ」という視点をもとに、大学経営の改革や教学改革についてのヒントを得ることができた。
- ・部活動の改善や地域の人々とのボランティア活動等、様々な場面において学生にリーダーシップを意識させることができていることを知り、大学職員として今後日常業務においてもリーダー人材の育成を意識していきたい。

10. 会場写真

